

令和6年度 西東京市立柳沢中学校 関係者評価表

学校の教育目標						
・広い視野をもち、勉学に励む人間「問題発見・解決能力」 ・思いやりのある人間「人間関係形成力」 ・心身ともに健康な人間「豊かな人生を実現させる力」						
【目指す学校像】 (1)生徒「一人一人が主役」となれる活動が溢れる学校 (2)生徒が安心して学べる「生命尊重教育を基軸とした」信頼溢れる学校 (3)「Team Yagisawa with smiles」チームとして笑顔が溢れる学校						
【目指す児童・生徒像】 (1) 自己実現に向け、自ら考え進んでやり抜く心と体を持つ生徒 (2)自他を尊重し、正しい判断に基づき責任を重んじ協力する生徒 (3)伝統と文化を尊重し、自然と郷土を愛し、広く社会に貢献しようとする生徒						
【目指す教師像】 (1) 生徒の心情に共感し理解し励まし支援する教師「生徒理解の深化」 (2) 分かりやすい授業を実践し、生徒の学ぶ意欲を引き出す教師「授業力」 (3)生徒の豊かな感性と良さを引き出し、自己実現を支援する教師「理想の実現」						
	具体的方策	学校自己評価		学校の取組及び改善策	学校関係者評価	学校関係者評価記入欄
		取組指標	成果指標			
確かな学力の向上	基礎・基本の定着やわかりやすい授業づくりに向け、「柳沢中スタンダード8つの取組」と「ユニバーサルデザインの視点による授業の取組」を活用して授業改善に努めている。	4	4	「柳沢中スタンダード8つの取組」・「ユニバーサルデザインの視点による授業の取組」を継続し、更に「効果的な発問」「振り返り学習の充実」を意識した授業展開を行い、誰一人取り残さない授業と、学力の定着を図った。全教員で実践例を共有し今後も推進する。	A	方針や方向性は確立している。／保護者・生徒アンケート結果より適正な評価・評定されているので、今後とも努めていただきたい。／保護者・生徒いずれのアンケートでも肯定意見が多く、学校での取組も評価できる。／どの先生も「努めている」と感じる。これに加え、その結果として生徒たちの「高まり」（知識・技能・思考力・判断力等）をどのくらい実感できているかも知りたい。／小規模だからできる誰一人取り残さない授業は続けていただきたい。／若手教員の声が会議の場で率直に出てくるのは、学校運営が権威的ではなく融和的だから。中学生に分かる言葉で若手に語ることが大切だと思う。
	各教科の授業において、目標に基づいて適正な評価・評定の実施に努めている。	4	4	どの教科も年度当初のオリエンテーション内でシラバス（年間学習計画、単元及び教材ごとの学習目標、評価規準、）を提示し説明を行いそれに基づいた評価・評定を行っている。生徒の取組として、振り返りカードを活用し、自己評価、他者評価を行っている。他者を評価することで自己を顧みて更なる意欲に繋げている。	A	各教科の授業において前向きに学習活動をしているので目標に基づき適正な評価・評定に努めてもらいたい。／評価についても設問は生徒にはない。生徒たちが「先生たちは自分を肯定的に評価してくれている」と感じると自己肯定感・自己有用感の高まりに通じる。／学習の目標提示など生徒に根付くのは時間がかかるが続けることが大切。／教科を教えているが、育てているのは子どもの心。授業で自分の努力や仲間の関わり、支え合いなど敏感にくみ取り行動することができた際はその場で認め、良いことをした気持ちを強化してほしい。／めめええ学習教室では生徒それぞれが学習する範囲を理解できていた。他者評価の詳細を知りたい。／アンケートも90%を維持している。
	GIGAスクール構想の具現化を図り、ICT機器を活用した授業改善・教育活動の質の向上を図るとともに、海洋教育パイオニアスクールプログラム校としてワクワクドキドキするような教育活動に取り組んでいる。	4	4	海洋教育パイオニアスクールは終了したが、引き続き今年度もイカの解剖を能登里海研究所とオンラインで結んで授業を行った。さらに、解剖したイカを葛西臨海水族館へ提供しESDの取組としての成果をあげた。生命の安全教育では個別配慮として1人1台端末を利用しイヤホンを使って動画の視聴を行った。	A	リテラシーに関する指導に対する評価も加えるとうい。／イカの解剖授業は実際の解剖と説明を合わせて学べる授業で良い体験をしていると思う。／人手の少ない中で、外部と連携して情報や支援する人をみつめて中に取り込んでいる。／ICTによる授業は先生方の負担にならない範囲で推進してほしい。ユニバーサルデザインにもつながる。／Challenge English Dayなど国際理解教育に積極的に取り組んでいる。／タブレット端末を利用して動画の視聴を行ったので、今後動画発信して引き続き授業に取り組んでほしい。
豊かな心の育成	時間、挨拶、言葉遣い、決まりを守るなどの生活目標の達成に向けて「あじみこし」を定着させ、基本的生活習慣の確立に努めている。	4	4	全体的に基本的生活習慣が身に付いている生徒が多い。教員、生徒共に、自ら挨拶をするようになってきている。今後は「あじみこし週間」など啓発週間を実施するなどして今以上に挨拶が飛び交う活気ある学校を運営する。個々の課題はあるが、遅刻してくる生徒もいるので、時間を守ることの意識も醸成させる。	A	素直な生徒が多い印象を受ける。日頃から地域住民と生徒が接する機会があることも一因かと思う。／学校訪問した時、あいさつ・言葉遣い等よくできているので、非常に生活習慣が身につけている生徒が多く、楽しみにしている。／生徒はとても明るく、校外の人へのあいさつもとても丁寧。／年度初めに比べると自ら自然に挨拶する生徒が増えた。／来校した際に玄関、階段で多くの生徒から挨拶をいただきました。来校する度に挨拶が増えていると実感する。／中学生は微妙な年代で素直に挨拶できないこともあると思うが、学校で啓発が続けることが重要。／発声を伴う挨拶に加え、会釈や目礼といった挨拶も身につけられると良い。
	一人ひとりを大切にせる教育を推進し、深い生徒理解、情報共有の徹底や関係諸機関との連携など早期発見、早期対応、未然防止に努めている。	4	4	不登校発生率(3%)が極めて低い。不登校対応巡回教員や校内別室指導支援員、学校生活支援員により、既存の教育支援委員会、不登校対策委員会と併せて、より強度な組織となり、実際に多くの大人が生徒に関わり、不登校の未然防止に努めた。引き続き小規模校の良さを活かし、温かく寄り添い魅力ある学校づくりを実践する。	A	不登校生徒への丁寧な対応を実践している。／今後も学校と、関係者と協力しながら不登校対策に努めていく。／教育・指導のスタートは深い生徒理解からだ考える。生徒一人一人どのような方法・観点で理解し、記録し共有しているのか伺ってみたい。／不登校が悪いわけではないが引き続き一人ひとりに寄り添ってもらいたい。／この項目が柳沢中の最大の良さだと思う。この努力や成果を前面に出して、学校像を明確にするとよい。／情報提供に対しても早急に対応している
	保護者や地域の理解及び協力を得ながら、地域貢献活動の推進をし、心の育成を図っている。	4	4	昨年度から継続してボランティア推進委員会を中心とした、花壇、あいさつ、地域清掃を中心に活動を実施した。弘済会よりチューリップの球根150株をいただき、地域協力者や園芸店との打ち合わせを行い、花壇が軌道に乗った。挨拶ボランティアは70名を超える月もあり、引き続き心の育成に努める。	A	校門から校舎までの道が花であふれていて気持ちが明るくなる。寄せ植えにそれぞれネーミングされていて生徒たちの工夫や思いが感じられ、素晴らしい取組。／生徒のよさを生かした自発的なボランティア活動が多くなることを期待したい。ボランティアへの向き合い方は根付いたので、次のステップへチャレンジしていきたい。／ボランティアの取組のアンケート評価が高い。ヤギカフェ等も生徒たちは熱心に手伝ってくれる。／地域イベントにボランティアとして参加していただきありがとうございます。／ボランティアに参加している意味を実感できるようなアレンジが望まれる。「形」はできているので「心」を入れていくような。
個に応じた指導	部活動や行事などで達成感の得られる活動や向上心を高めさせる活動や持久走などの継続的な取組による生徒の心身の向上に努めている。	4	4	今後の生徒減（教員減）を見据えて部活動の再編を行っている。合唱コンクールはタクトこもればホールで実施し体育館と違った従来のホールで歌うという新たな経験を積むことができた。コロナ禍を経験した生徒の体力は下降気味ではあるが、健康カードを記入し自分の健康を自分で知る中で、トレーニングについても記入できるようになっており、体力向上を意識させることができた。	A	令和6年度中学校体力テストの結果を見ると、全国平均より上回っている種目があるので心配ない。／今後の部活動の在り方は柳沢中学校に限らず大変難しい課題である。生徒の意向を優先していただくとともに、家庭状況も勘案して進めてもらいたい。／人手の少ない中で外部と連携し支援する人を見つけている。／行事を通して準備～本番の間また、行事の後、生徒の成長を見ることができた。生徒が主体的に活動していた。／身体的要素・精神的要素における行動体力・防衛体力について、保健体育科の先生や養護の先生を中心に、生徒の実態を分析的に捉えることと指導に役立つと思う。／部活動については地域の力を借りつつ続けられる道を探すことを続けていただきたい。合唱コンクールは大変良い経験になったと思う。／指導教員の人材が少なくなる中、努力して部活動の維持に努めている。
	校内の安全、安心、安定な生活環境を整えた安全教育の実施と危機管理体制を確立している。	4	4	東京都安全教育推進校2年目となり、今年度も保谷二小と連携し、やぎさわ安全の日を実施した。また生命の安全教育を行った。朝、連絡がない安否がわからない生徒については、継続的に連絡を取り続けたり、情報共有している。また、欠席が続く生徒については、担任から家庭に連絡を入れるなど、危機管理体制は確立している。	A	防災訓練を通し日頃から消火器訓練、AEDの利用について学んでほしい。危機管理体制について地域の協力も得られるなら取り組んでほしい。／連絡の取りにくい家庭には苦慮されていると思うが、地域の方を活用して安否確認は引き続き継続すべきだと思う。／防災・減災に向けた知識・技能・判断力・行動力（実践力）はさらに高めしてほしい。／安全教育については続けていただけるとのことでありがたい。毎年続けることで根付くものはあると思う。生徒の安否確認も大変だ思うがお願いします。／安全教育推進校としての取組がよく実った。
地域との連携	活力ある生徒、自他の生命を大切にせる心を持つ生徒の育成をするため、学校行事や生徒会活動での取組を工夫する。	4	4	感染対策を講じながら、二大行事の全校実施、宿泊行事や校外学習等を行った。学級閉鎖が他の中学校と比べても少なく、安定した教育活動を送ることができた。生徒会活動では、近隣の老人ホームにクリスマスカードを届けるなど活動が増えてきた。生活指導も少なく、自他の生命を大切にせる生徒の育成に一定の成果が出ている。	A	人を大切にする、人の尊厳を守ることを具体的に老人ホームへの訪問などで実践している。／大きな行事を1年通して中止、縮小などなく実施していただき感謝しています。／学校行事の意義と目的を先生方で再確認し、行事の増減にあつては、その有効性、必要性及び他の活動や指導との互換性なども検討することが必要だと思います。／生徒は自分の話を聴いてもらうことで人に認められたと思えると思うので、地域の大人としても寄り添っていききたい。／学級閉鎖が他の中学校と比べても少ないのは素晴らしい。／今後も感染対策をしながら行事に取り組んでほしい。生徒会も一定の成果がでているので、良いと思う。
	授業公開、学校だより、学年・学級だよりやホームページをリアルタイムで発信し、教育活動の積極的な公開に努めている。	4	4	定期的な学校だよりや学年、学級、保健だよりに生活指導通信と進路だよりの発行と学校ホームページによる授業の様子の公開など教育活動の発信に努めた。また、修学旅行やスキー移動教室などは学校メールを使いリアルタイムで様子を公開した。行事だけでなく普段の授業を見学できるよう、来年度授業公開を増やす予定である。	A	個人情報の保護等に留意しつつ積極的な情報発信はこれからも継続していただきたい。／学校からの発信は十分に対応していただいている。／「すぐる」を通して先生方が発信に取り組んでいるのをいつも感じています。／HPの発信は教育活動が必要がある。市民以外の人でも見られるので引き続きお願いします。公開授業も増やして学校紹介PRに努めていただきたい。／校外学習の様子などタイムリーに拜見させていただきました。生徒を大切に思う学校の姿勢を感じた。／人手の少ない中で細やかに取り組んでいる。／移動教室や修学旅行の様子は写真も見ることができて保護者も安心できると思うとても親近な取組。
	学習支援や外部人材など地域の教育力を活用した学習補助及び放課後学習教室を推進し、学校と地域が連携して地域の子供たちの育成に努める。	4	4	CSのおかげで、働く人の話を聞く会、放課後学習教室、放課後カフェなど充実している。また、昨年度同様、武蔵野大学福祉ボランティア団体、地域大学の学生、インターンシップ制度などを活用した授業中の学習支援を推進した。今年度新たにALTによるChallenge English Dayを開催しグローバル人材の育成に努めた。	A	CSでも地域の人材発掘に努めたいと思う。学校の安全を第一に、いろいろな人材が教育に参加し、良い刺激を受けられると良いと思う。／様々な工夫の成果だと思う。／地域とともに進めるという視点でこれからもお願いします。／引き続き関係諸機関等と協働しながら充実を図っていただきたい。／よく努力して人材活用のために取り組んでいる。／生徒にとって先生だけでない地域の先生、外部の先鋭の教えを受ける機会を多く取り入れていただいており、大変かとは思いますが、続けていただけたらと思います。／地域の皆さんの協力体制はとても充実しているのので、これからも連携を深めて活動をしていただきたいと思います。

A：自己評価は適切である。 B：自己評価は適切ではない。 C：評価のための資料が不足している。 D：評価は不可能である。